

令和5年度 岩見沢市市政改革懇話会
第3回会議（10/10開催）

市長挨拶 岩見沢市長 松野 哲

市政改革懇話会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

また、日ごろから委員の皆様におかれましては、本市の市政運営に格別なご尽力をいただいておりますことについて、重ねてお礼申し上げます。

本懇話会につきましては、私が市長に就任した翌年の平成25年度より開催し、丸10年に渡り、当市の市政運営や行政改革に対して、皆様方からご意見をいただいておりますが、会の設置以来、長きにわたり会長を務め、大変ご尽力をいただいております堀 利幸さんが昨年度で勇退され、今年度からは新たに阿部啓吉さんをお迎えし、会長に就任いただいたところです。

ここ数年、我々の生活を大きく変えたコロナ禍からの回復が進みつつある中においても、人口減少や財政状況など地方自治体を取り巻く厳しい環境は変わりなく、阿部会長を始め、委員の皆様方には、その経験と知識を基としたご意見を賜り、これからの岩見沢市をつくっていききたいと考えている次第でございます。

本日は、「第6期岩見沢市総合計画」の進行管理を目的とした「行政評価」における外部評価について、今年度はこれまで2回に渡り、長時間のヒアリングにご協力いただいたと伺っておりますが、ご意見をいただいた内容を整理し、反映させた最終的な外部評価について、ご協議いただくことになっております。

また、昨年度、委員の皆様方よりご意見をいただきながら、今年3月に策定しました新たな「行政改革大綱」と「中長期財政計画」「職員定員管理計画」については、今年4月からその取組みを始めたところでございますが、当市の今後10年間を見据えたこれらの計画の取組みについて、委員の皆様には、ご意見、ご助言をいただきたいと考えておりますので、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。